

『出雲大社門前町の発展と住人の生活』を発売しました！



3 江戸後期の杵築門前の景観



2 江戸初期の杵築門前町の景観



1 鎌倉中期の杵築の景観

いつも財団叢書第4号書 籍 名：出雲大社門前町の発展と住人の生活
編著者名：公益財団法人いつも財団 出雲大社御遷宮奉賛会
形式等：A5判 211頁
出版社等：今井出版 価格 1,500円（税別）
発刊日：平成30年1月20日

※本書は島根県内の今井書店グループで販売しています。

松江市 今井書店殿町店 TEL0852-24-2230

出雲市 今井書店出雲店 TEL0853-22-8181

その他島根県内の書店

【目次】

- 序章 第Ⅲ期公開講座の主旨と実施状況** 公益財団法人いつも財団事務局
- 第1章 出雲大社門前町の基本的な「かたち」**
- 1 絵図から見た門前町杵築の形成 佐伯 徳哉（新居浜高専教授）
—平安末・鎌倉時代 門前町形成「前史」—
 - 2 出雲国の宗教センター杵築 長谷川博史（島根大学教授）
- 第2章 商業の発展と町域の拡大**
- 1 16世紀における杵築門前町の発展 長谷川博史（前出）
 - 2 町地域の拡大と近世杵築町の展開 山崎 裕二（いつも財団事務局長）
- 第3章 参詣客の増大と富くじ興行**
- 1 出雲信仰の広がりや参詣客の増加 岡 宏三（県古代歴博学芸員）
 - 2 杵築富くじ興行とその経済効果 山崎 裕二（前出）
- 第4章 明治・大正期の大社繁華街と大社駅の開業**
- 1 明治・大正期の大社の繁華街点描 廣澤 将城（元大社町史編集委員）
【コラム】 大正5・6年頃の杵築の旅館と土産品店 廣澤 将城（前出）
 - 2 大社駅と神門通りの建設 永瀬 節治（和歌山大学准教授）
- 第5章 シンポジウム**
主題「甦る門前町！歴史文化を活かした観光町づくりをどう進めるか？」
- 基調提案 永瀬 節治（和歌山大学准教授）
 - シンポジスト 濱田 典保（伊勢市観光協会会長）
 - 〃 小野 正人（香川県琴平町長）
 - 〃 田邊 達也（神門通り甦りの会代表）
 - コーディネーター 永瀬 節治（前出）